

俳句 大津俳句会

早咲きの花に寄りそひゐる日差し

井芹眞一郎

つと草の中より出でて初蝶来

岩崎由美子

いぬふぐりお地藏様を囲みをり

大塚喜久子

並びたる鉢を窓辺に春を待つ

岡崎 浩子

山肌やまはだに春の夕日のやはらかく

佐賀 久子

睦みあふ二羽の真鶴まなづる天仰あおぐ

佐澤 俊子

俳句 つのはな句会

穴開けて元氣吸い込む寒卯

村田 健二

大地裂けるこの地球はしに生れ冬を生きる

志賀 孝子

節分豆撒いて願いは唯一つ

田上 公代

老友の筆文字はねて如月に

木庭 杏子

酒蔵の蒸気豊かな春つむぐ

上杉 波

寄せ鍋を囲みふつつふつAI論

矢嶋 道子

菜の花と活気あふれる朝の市

梅木トキエ

冬ふゆうらら脳活講座笑顔あり

塚本 洋子

建国日賽の河原に積む瓦礫

榮田しのぶ

短歌 大津短歌会

お茶点てる度に笑顔の友偲ぶ影なき席に
一服ふるまう

豊岡ミツル

蒼天のいづくより舞う風花か心渴きてふ
と触れてみる

吉永 恵子

年の瀬に「推し活」とやらいそいと出掛
くる娘は五十路を超ゆる

鞍 岳志

私とて成さねばならぬこと多し腹帯締め
てサアか関ろうか

菅野 静

クリスマスクリスマスのポインセチアの葉の虹が園
児のほほに染みたり如し

小平 善行

強がりつよがりで甘えん坊で泣き虫でおまえ飼い
主にそっくりだニヤ

坂本 杲子